

まつど更女だより

令和4年3月31日発行
第27号
編集・発行/松戸地区
更生保護女性会
発行責任者/太田麗子



卒業祝いの手作り『栞』

会長 太田 麗子

令和3年度も新型コロナウイルスが沈静化することなくその影響は今も続いています。それに伴い、私達のボランティア活動も中止を余儀なくされ、会員同士とも地域の方々とも触れ合う機会が少なくなり、心のつながりが希薄になるのではと懸念しています。

更生保護の観点から青少年の犯罪は減少しているものの、いじめ、虐待、貧困、ネグレクト、自傷行為、引きこもり、最近ではヤングケアラー等々と少年を取り巻く環境は難しくなっております。このコロナ禍の影響はより力の弱い人に向いているのではと思われまます。「青少年の健全な育成」を掲げる私達更女会は今何が出来るかと話し合い、中学3年生の卒業に合わせ『栞』(写真参照)を贈らせて頂き、そばで長く見守れたらと思ひ作成致しました。市内

21の中学校があり一度に贈るのは無理ですが事業の一つとして続け、ミニ集会、児童養護施設、児童自立支援施設、更生保護施設等へは、なおより良い支援をと考えております。



市内の中学3年生に贈呈した栞



皆様の更なるお力添えを

千葉保護観察所長 古山 正成

昨年4月1日付けで福岡保護観察所から異動してまいりました古山(こやま)と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

はじめに、松戸地区の更生保護が、更生保護女性会員の皆様を始めとする更生保護関係者各位の御尽力と、自治体を始めとする関係機関・団体各位及び経済界を始めとする各界の皆様、そして地域の方々からの幅広い御支援と御協力により、充実した制度として営まれていることに對し、心から敬意と感謝の意を表します。

さて、このたび、コロナという見えない脅威に

直面し、社会的孤立や望まない孤独が顕在化してきました。その影響は地域の子供たちに最も強く表れてきています。地域を想い、「ほうっておけない」の精神で、地域の中で孤独・孤立に陥りがちな人たちの生きづらさにそっと寄り添ってこられた、皆様方の日々の活動が、ますます重要になってきています。

会員の皆様方には、健康を守ることを最優先にしながらか引き続き「生きづらさ」を包み込む大きくて豊かなコミュニティづくりのために、更なるお力添えをいただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

『新部長の紹介と活動状況』



「新たな取り組み」

事業部 部長 伊藤 奈美子

松戸まつりや更女会恒例の地域イベントに参加するため準備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、残念ながら中止になりました。販売を予定していた黒糖は会員のみとなりました。今年度は何が出来るか話し合いの結果、松戸市内中学校の卒業生に向けて、新しい門出にエールを葉にして贈ってとは意見があり、教育委員会に相談したところ、ご理解ご協力をいただくことが出来ました。令和3年度の卒業生から順次贈ることとなりました。新型コロナウイルスの収束は未だに見えませんが今だからこそできる活動を探していきたいと考えています。

3/3訪問



第一中学校262名
みらい中学校10名

3/3訪問



第二中学校185名



作業風景



「花育て 人育て」

支援部 部長 田岡 恵子

支援部は、児童養護施設晴香園での活動が主で、花壇の整備や「晴香園フェスタ」への協力等を行っております。

花の植え替え作業には、会員の他、園の職員の方々や子供達も積極的に参加しています。

子供達には、土いじりや花を育てることの楽しさを実感してもらい、また、きれいになった花壇を見て、すべての人に安らぎを感じてもらえたら嬉しいです。そして「いつも見守っているからね。」というメッセージにもなればと思っています。





「ミニ集会活動」

研修部 部長 石井 久子

令和3年10月26日、新松戸・本庁・東部地区
合同の少年補導委員の方々11名、更女会5名にて
ミニ集会が行われました。太田会長挨拶の後、全
参加者の自己紹介を行い、続いてDVD「君は一人
じゃない」を視聴し、
その感想を話し合い、
親睦を深め、有意義
な時間を過ごしまし
た。またアンケート
に「今回の事を友人
に伝えます」「学校



読み聞かせ



新松戸青少年会館

などで紹介する機会があれば…」と心強い言葉をいただきました。2
月予定のミニ集会は、コロナ禍の現況により中止の連絡がありました。
来年度は以前のようなバス研修が出来るように願っています。

「希望あふれるスタートにエールを」

広報部 部長 佐藤 せつ子

コロナ禍、三度目の春・・・新たなスタートラインに立ち、人生の『よき
日』を迎えている方。コロナ禍の日常に、人生の貴重な何頁かを送らざるを
得なかった方。困難な日々を乗り越えて、新たな発見、気づき、出会いに期
待を膨らませている方。そして、改めて、平和の尊
さを身に染みている方。

新部長になり、不安や戸惑いもありますが、情報
のデジタル化に不慣れな部員も多い中、互いに知恵
を絞り励まし合いながら共に学んでいく姿勢に誇り
を感じています。

情報の共有はLINEを通じ、チームワークを大切
にしています。マスク姿で表情が伝わりにくいのが
残念ですが、いつの日か「こんな時代もあったね」
と記録に残る広報紙作りを目指していきたいと考えて
います。



編集会議（サポートセンターにて 3月6日）

〔 婦 性 会 訪 問 〕

令和3年7月16日

馬 場 計

「人はみな、生かされて生きてゆく」更生保護制度施行50周年記念の標語は私の大好きな言葉です。

7月16日(金)太田会長、吉本、石井、志田、馬場の5名で更生保護法人婦性会に行ってきました。梅雨明けの暑い一日でしたが、その暑さを吹き飛ばす程内容の濃い充実した訪問でした。時間が少し早かったのですが、補導員の大須賀央紀さんの案内で涼しい面会室に入る事が出来ました。

大須賀さんはこの4月から、大きな目標を持ち、婦性会の補導委員になられたとのこと、気くばりの冷たいお茶をいただきほっとひと息。その後施設長の野堀雅之氏とゆっくり懇談の時間が持てた事は本当に良かったと思っています。

婦性会は地域の人達とのかかわりも良く、住宅地の真ん中にある利点を生かしての運営をしているとの事、運営母体は、県内の仏教会、保護司会、更生保護女性会、BBS会を中心に支えている事を、更女の一員として実感いたしました。

懇談の中で、施設長さんはじめ8名の職員で活



動し、収容定員20名、現在は15名の人達が自立をめざし頑張っていると説明がありました。

阿部川元会長、佐南谷前会長、太田会長らの、積み重ねて来た更女活動を大切にしていきたいと思います。

こたにがわ園 訪問

令和3年11月26日、太田会長、吉本副会長、篠会計の3名で訪問し、寄付金を贈りました。

また、4月に新社会人として卒園される方に、生活支援品(電子レンジとケトル)を2月16日にお届けしました。



表彰おめでとうございます

第64回千葉県更生保護大会

令和3年11月17日(水)長生村文化会館において、第64回千葉県更生保護大会が開催されました。本大会は、令和2年開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により1年延期されたことで大会規模をコンパクトに収め、最大限の配慮がなされた上での開催となりました。



◇千葉保護観察所長感謝状

島倉美賀様

◇千葉県更生保護女性連盟会長表彰

末松圭様

第39回松戸市社会福祉大会表彰者

特別功労	矢部 敏子 様
社会福祉団体会員功労	北楯 邦子 様
社会福祉団体会員功労	遠峯 厚子 様

「更生保護女性会」に入会して

山下 トモエ



更生保護女性会について何も知らず、誘われるままに入会しました。コロナ禍でもあり、なかなか行事にも参加できず、11月に初めて支援部の活動と全体会に参加させていただきました。更生保護女性会の活動内容を知り、驚きとともに力強さを感じました。

今後は更生保護女性会について学び、皆様に色々教えていただきながら活動に参加できたらと思っています。

来年度は新入会員研修会にも参加して、知識を深め活動に役立てていきたいと考えています。

暫くは仕事との両立で参加となりますが、よろしくお願ひします。